

掛川市・袋井市 新病院建設だより



January 2012 Vol.10

新病院の名称

「中東遠総合医療センター」に決定



公募により選定を進めていた新病院の名称が「中東遠総合医療センター」に決まりました。

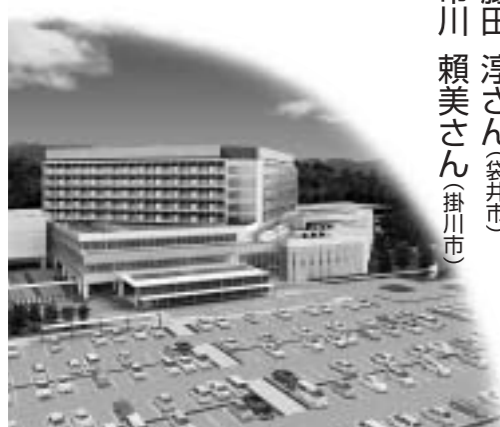
新病院名称候補選定委員会を3回にわたり開催し、委員の皆さんでいろいろな議論を交わした結果、新病院にふさわしい名称となりました。

中東遠総合医療センターの「中東遠」にはこの地域の基幹病院として、市民に質の高い医療を継続して提供してほしいとの期待感が込められています。

また、「総合医療センター」としたのは、現在の病院と混同しないようにすることにも、急性期の高度医療を提供する病院であることをイメージできるためです。

なお、「中東遠総合医療センター」という名称を応募されたお2人に最優秀賞を、「中東遠」を使った名称を応募された119人のうちから抽選で3人の方に優秀賞を贈ることとなりました。

■最優秀賞
藤田 淳さん(袋井市)
市川 頼美さん(掛川市)

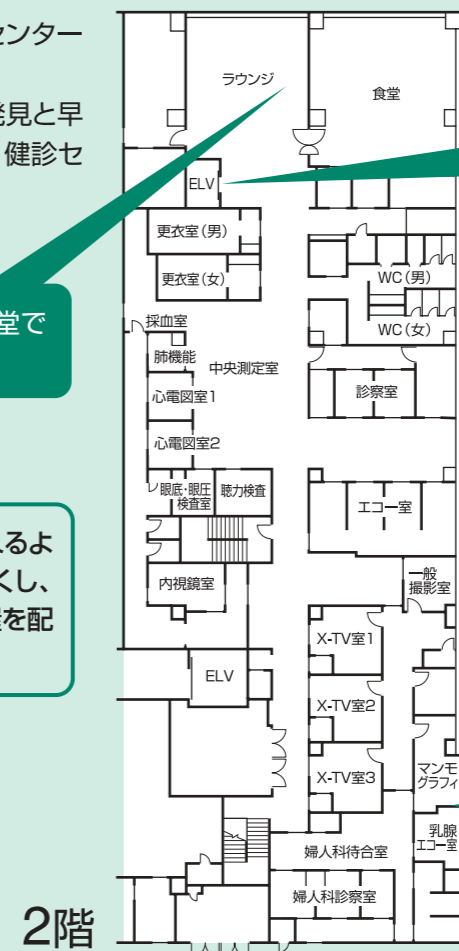


新病院設計のポイント ～⑥人間ドック・健診センター～

今回は、人間ドック・健診センターについてご案内します。
新病院では、病気の早期発見と早期治療を目指し、人間ドック・健診センターを設置します。

ゆったりしたラウンジや食堂でくつろいでいただけます。

健診をスムーズに受けられるよう、検査場所を分かりやすくし、人が交差しないよう各部屋を配置しました。



人間ドック・健診センターへは、病院の患者さんとは別の1階専用出入口から直接エレベータで上がります。

人間ドックは、1日50人程度を予定しています。



マンモグラフィや乳腺エコー検査など女性専用の検査部門です。

看護師募集

平成24年4月スタート



平成25年春の開院をめざし準備を進めている新病院の職員募集が平成24年4月から始まります。
新しく生まれる病院で、あなたの未来を咲かせてみませんか。
詳しい内容は、随時更新している組合ホームページをご覧ください。

誇りと働きがいのある病院に

- 1 人材育成のための研究・研修環境の充実
研修システムを確立し、専門資格の取得を支援する環境を整えます。
- 2 勤務環境の充実
院内保育所の設置、育児短時間勤務制度の導入を行います。
- 3 過重労働の軽減
適切な人員配置をすることともに、情報システムの活用などにより効率的な勤務体制を整えます。
- 4 ゆとりある看護配置
7対1看護体制をとりまます。
また、3交替勤務と2交替勤務を選択することができます。



掛川市・袋井市新病院建設事務組合

〒436-0043 掛川市大池2798番地の11 (掛川市勤労者福祉会館内)
TEL.0537-61-2700 FAX.0537-61-2701
ホームページアドレス <http://www.shinbyoinkyogi.jp>
Eメールアドレス byoken@city.kakegawa.shizuoka.jp

平成24年1月1日発行

この広報紙は資源リサイクル推進のため、再生紙を利用しています。

建設現場の進捗状況

新病院の建設現場では、平成25年春の開院を目指し、急ピッチで工事が進められています。
現在は、基礎工事と免震装置の据付を行うとともに、建物の構造物となる鉄骨工事や、床のコンクリート工事を行っています。
病院本体については、平成24年12月末に完成する予定です。



基礎工事の様子です。
建物の基礎となる鉄筋を組み立てた後、コンクリートを流し込みます。基礎工事を行う地下の床面積は約9,600㎡で、テニスコート約40面分にあたります。



建物の基礎工事と並行して、免震装置を取り付けています。
4種類の免震装置を全部で156基、オイルダンパー(油の弾力により衝撃や振動を抑える装置)を36基設置します。

市民の声

新病院名称候補選定委員会の委員として、名称選定に携わっていただいたお2人に新病院への思いをお聞きしました。



掛川市区長会連合会長
天野 功氏

掛川・袋井両市の市民が熱望する新病院が、随分高く建設が進んでいることは、本当に嬉しいことです。そして、このほど新病院の名称が、建物より一足先に決定され、公表されることになりました。
周知の様に新病院は、全国初の両市の市立病院が統合して生まれる、画期的な病院ですので、病院名は高度医療の新しい発展を見据えた名称となりました。

新病院名称選定委員のひとりとして、多くの方々の応募名称を目にしますと、まさに新病院にかけの想いや願望に彩られ、改めて皆様への期待の高さを痛感いたしました。これからは、すべての市民が治療なら「中東遠総合医療センター」へ、という信頼度高い病院実現に、ご関係の方々のご尽力をお願い申し上げる次第です。



袋井市自治会連合会長
小林 勝己氏

新病院名称選定委員会に於いて、一番印象に残りましたことと言えば、1552作品を応募してくださいとされた市民の皆さんが、名称名がそれぞれ異なっているにもかかわらず、思いは中東遠地域の中核病院として、この地域全体の医療を支える医療センターを強く望んでいることです。

多くの市民の皆さんが望んでいる作品を背負いながら委員会は、時には白熱した議論を展開する場面もありましたが結果的に委員総意のもと「中東遠総合医療センター」と名付けることになりました。大きな市立病院が統合し、連携して医療を支えることは非常に意義があることだと思います。今後は、新病院が高度な医療を提供するのみならず、地域の住民に望まれる医療センターとなることを大いに期待しております。

組合議会

10月25日に開催された第4回組合議会(臨時会)の議決内容をお知らせします。

●議決内容

- 1 平成23年度組合会計補正予算(第2号)債務負担行為の追加
1,800万円
(新病院経営計画の策定支援業務)
- 2 総合医療情報システム購入契約の締結
契約額(税込)
11億7,000万円



新病院イメージ図

総合医療情報システムとは

新病院の医療機能を支える総合医療情報システムの購入について、日本電気株と契約しました。

●システムの役割

電子カルテシステムやオーダーリングシステムなどを中心にして、看護部門や検査部門などの各部門システムと連携できるよう、ネットワーク化を進めるものです。

これにより、受付や診察を済ませると、患者情報が各部門に送られ、スムーズに受診することができま



●医療情報システムの全体イメージ

